

## シラバス

### 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム A		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラム A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	1	15
使用教材	7つの習慣」テキスト、夢のスケッチブック		出版社	FCE エデュケーション	

### 科目の基礎情報②

授業のねらい	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する				
到達目標	「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する 他者へのリーダーシップを醸成し、主体性を発揮できる様になる				
評価基準	授業態度：40% 提出物：40% 小テスト／レポート：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザイン I A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	武山 理佳	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

### 各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	未来デザインプログラム授業への価値付けを行い、日誌を書くことの意味や今日から実行できる機会を考える
2	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの概念を知り、自分制限パラダイムを取り払った状態で行動が継続できる様に考える
3	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解すると共に、自分自身への約束を守る大切さを学ぶ
4	刺激と反応	刺激と反応の考え方を理解し、どのような状況でも一時停止ボタンを使い主体的に判断・行動していくことの大切さを考える
5	言霊 ～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
6	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にし、今自分がやるべき事、考えるべき事を優先順位を考えながら整理していく大切さを学ぶ

7	選んだ道と選ばなかった道	自分の選択は自分の気持ち次第であり、自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
8	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解する
9	人生のビジョン	10年後のなりたい自分を考えることにより、入学時に考えた「卒業時の姿」をより具体的に考える
10	自分の価値観を知る	なりたい姿を鮮明にすることの大切さを知り、自分の価値観を深掘りすることで、将来のなりたい姿を具体的にイメージできるプロセスを学ぶ
11	大切なこととは？	なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」は、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ
12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ。自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
13	時間管理のマトリクス	第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
14	私的成功の振り返り	主に私的成功の習慣（前期授業内容）の復習（知識確認）
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ

シラバス				
科目の基礎情報①				
授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム B	
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラム B	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	1 15
使用教材	7つの習慣」テキスト、夢のスケッチブック		出版社	FCE エデュケーション
科目の基礎情報②				
授業のねらい	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する			
到達目標	「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する 他者へのリーダーシップを醸成し、主体性を発揮できる様になる			
評価基準	授業態度：40% 提出物：40% 小テスト／レポート：20%			
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者			
関連資格	なし			
関連科目	キャリアデザイン I B			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員	武山 理佳	実務経験		
実務内容				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
2	Win-Win を考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
3	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
4	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、理解してから理解するという考え方があるということを学ぶ
5	相乗効果を発揮する	多様性や人と違いがあることに価値があることを学ぶ
6	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える

7	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続あり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ
8	人生ビジョンを見直そう	自らが立てたライフプランを現実的な視点から見つめ、必要な軌道修正を考える
9	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高めていく
10	未来マップを作ろう②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
11	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
12	7つの習慣授業の復習	7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的成功が公的成功に先立つことを理解する
13	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラム授業で学んだことの復習（知識確認）
14	2年生に向けて①	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える
15	2年生に向けて②	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

## シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	マナープロトコール A		
必修選択	必修	(学則表記)	マナープロトコール A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	マナー・プロトコールの基礎知識 マナー・プロトコール検定 2 級・3 級問題集		出版社	日本マナー・プロトコール協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	観光業界で働く上で必要なマナーやプロトコールを習得する				
到達目標	マナー・プロトコール検定 3 級に合格することができる				
評価基準	テスト 50% 小テスト 30% 授業態度 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	マナー・プロトコール検定 3 級				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	林 美香	実務経験	○		
実務内容	航空会社勤務、サミット・国際会議時の接遇担当、企業ビジネスマナー研修講師、接遇コンテスト指導				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、ねらいと到達目標について、マナー・プロトコール検定の概要、マナーとは
2	マナーの歴史と意味	各国のマナーの成りたちと特徴
3	好感度を高めるポイント	第一印象、挨拶、表情・笑顔、立ち居振る舞い
4	言葉遣いと話し方	言葉遣い、聴き方・話し方のポイント
5	自己紹介	歩き方、姿勢、自己紹介

6	プロトコール①	プロトコールの原則、異文化を知る
7	プロトコール②	席次、国旗
8	手紙のマナー	手紙のマナー、手紙を書いてみよう
9	ビジネスマナー	会社とは、社会人意識、名刺交換
10	電話対応とクレーム対応	電話対応、トラブル対応
11	来客対応①	来客対応
12	来客対応②	茶菓接待
13	ビジネス文書	各ビジネス文書のマナー
14	前期テスト/喜ばれる贈答	テスト実施、贈り物のマナー
15	まとめと総括	テスト問題解説、質疑応答、前期総復習

**シラバス**

**科目の基礎情報①**

授業形態	講義	科目名	マナープロトコール B		
必修選択	必修	(学則表記)	マナープロトコール B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	マナー・プロトコールの基礎知識 マナー・プロトコール検定 2 級・3 級問題集		出版社	日本マナー・プロトコール協会	

**科目の基礎情報②**

授業のねらい	観光業界で働く上で必要なマナーやプロトコールを習得する				
到達目標	マナー・プロトコール検定 3 級合格				
評価基準	検定試験 30% テスト 30% 小テスト 20% 授業態度 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	マナー・プロトコール検定 3 級				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	林 美香	実務経験	○		
実務内容	航空会社勤務、サミット・国際会議時の接遇担当、企業ビジネスマナー研修講師、接遇コンテスト指導				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

**各回の展開**

回数	単元	内容
1	和食のマナー	食事作法の基本、和食のマナー、和室の作法
2	洋食のテーブルマナー	西洋料理のマナー、各国のマナー
3	「冠」のしきたり	冠婚葬祭とは、日本の主な通過儀礼
4	「婚」のしきたり	結婚の変遷とマナー、礼装の基準
5	「葬」のしきたり	葬送儀礼のしきたりとマナー

6	「祭」のしきたり	日本の年中行事
7	模擬試験①	模擬試験実施
8	模擬試験②	模擬試験実施
9	模擬試験③	模擬試験実施
10	模擬試験④	模擬試験実施
11	模擬試験⑤	模擬試験実施
12	模擬試験⑥	模擬試験実施
13	模擬試験⑦	模擬試験実施
14	後期テスト	テスト実施
15	まとめと総括	テスト問題解説、質疑応答、検定直前総復習



**シラバス**

**科目の基礎情報①**

授業形態	演習	科目名	インバウンド接客英会話 A		
必修選択	必修	(学則表記)	インバウンド接客英会話 A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	観光のための初級英単語と用例 みんなの外国語検定DVD		出版社	みんなの外国語検協会	

**科目の基礎情報②**

授業のねらい	基本的なコミュニケーション、実際のホテルやレストランやお店などで使うような英会話力を習得する				
到達目標	日常英会話、ホテル等で接客に必要な英会話話ができるようになる みんなの外国語検定ブロンズ以上に合格できる				
評価基準	授業態度 40% 検定合格 30% 小テスト 30%				
認定条件	出席が総時間数の 3分の2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	みんなの外国語検定 (英語)				
関連科目	観光英会話 I A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	Darcy	実務経験	○		
実務内容	英会話講師				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

**各回の展開**

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ブロンズ	授業の流れ、狙いと到達目標について DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
2	ブロンズ	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
3	シルバー	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
4	シルバー	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
5	ゴールド	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ

6	ゴールド	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
7	カフェ	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
8	カフェ	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
9	寿司	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
10	寿司	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
11	牛丼	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
12	牛丼	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
13	飲食共通	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
14	飲食共通	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ、小テスト
15	復習・検定対策	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ

シラバス				
科目の基礎情報①				
授業形態	演習	科目名	インバウンド接客英会話 B	
必修選択	必修	(学則表記)	インバウンド接客英会話 B	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	1 30
使用教材	観光のための初級英単語と用例 みんなの外国語検定DVD		出版社	みんなの外国語検協会
科目の基礎情報②				
授業のねらい	基本的なコミュニケーション、実際のホテルやレストランやお店などで使うような英会話力を習得する			
到達目標	日常英会話、ホテル等で接客に必要な英会話話ができるようになる。 みんなの外国語検定ブロンズ以上に合格できる			
評価基準	授業態度 40% 検定合格 30% 小テスト 30%			
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者			
関連資格	みんなの外国語検定 (英語)			
関連科目	観光英会話 I B			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員	Darcy	実務経験	○	
実務内容	英会話講師			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	コンビニ	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
2	コンビニ	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
3	ドラッグ	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
4	ドラッグ	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
5	100円ショップ	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ、小テストの実施

6	100円ショップ	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
7	小売共通	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
8	小売共通	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
9	タクシー	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
10	バス	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ、小テストの実施
11	電車	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
12	電車	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
13	宿泊	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
14	宿泊	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
15	復習・検定対策	DVDで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ

**シラバス**

**科目の基礎情報①**

授業形態	演習	科目名	コミュニケーション実習 A		
必修選択	必修	(学則表記)	コミュニケーション実習 A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	コミュニケーション技法		出版社	ウィネット	

**科目の基礎情報②**

授業のねらい	人前で話し方。良好な人間関係の作り方（コミュニケーション能力）を学ぶ				
到達目標	人前で落ち着いて自分の考えが話せる 人の話をよく聞き発言できる				
評価基準	制作物：30% 発表(やる気・声の大きさ等)：30% 協調性：20% 授業態度：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡本 雄矢	実務経験	○		
実務内容	タレント業（芸能活動 20年）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

**各回の展開**

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、目標 発声練習・自己紹介
2	人前で話す事に慣れる	発声練習・自己紹介・ジェスチャーゲーム
3	人前で話す事に慣れる	発声練習・自己紹介・教科書記入
4	人前で話す事に慣れる	発声練習・自己紹介・撮影・敬語の基本

5	人前で話す事に慣れる	発声練習・自己紹介・プレビュー、振り返り
6	人前での話し方を意識する	発声練習・夢と動機発表・教科書
7	人前での話し方を意識する	発声練習・GWの出来事制作発表・ジェスチャーゲーム
8	人前での話し方を意識する	発声練習強化・1ヶ月経ってを制作発表
9	人前での話し方を意識する	発声練習強化・決まった時間で自己紹介作成発表
10	腹式呼吸と活舌の レベルアップ	発声練習強化・決まった時間で自己紹介暗記発表
11	腹式呼吸と活舌の レベルアップ	発声練習強化・目的地までの道案内・面接の話
12	人前で暗記して話す	発声練習強化・教科書・個人で記入グループで答え合わせ発表
13	誰にでも分る話し方を する	発声練習・教科書記入・全員参加でゲーム
14	挨拶の効用	発声練習・挨拶、マナー、エチケットについてを話し合い発表
15	挨拶の言葉遣い	発声練習・教科書記入、答え合わせ

**シラバス**

**科目の基礎情報①**

授業形態	演習	科目名	コミュニケーション実習 B		
必修選択	必修	(学則表記)	コミュニケーション実習 B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	コミュニケーション技法		出版社	ウイネット	

**科目の基礎情報②**

授業のねらい	人前で話し方。良好な人間関係の作り方 (コミュニケーション能力)				
到達目標	人前で落ち着いて自分の考えが話せる 人の話をよく聞き発言できる				
評価基準	制作物 : 30% 発表(やる気・声の大きさ等) : 30% 協調性 : 20% 授業態度 : 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3分の2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡本 雄矢	実務経験	○		
実務内容	タレント業(芸能活動 20 年)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

**各回の展開**

回数	単元	内容
1	効果的に話す	発声練習・5 W2H を制作発表
2	効果的に話す	発声練習・話にナンバーリング作成発表
3	効果的に話す	発声練習・主第一話題—主張作成発表
4	効果的に話す	発声練習・AIDMA を制作発表
5	効果的に話す	発声練習・暗記して話す撮影、プレビュー

6	集団でのコミュニケーション	発声練習・地震に役立つ物（指導の手引き）
7	感情をコントロール	発声練習・怒り等の感情を知る・ゲーム
8	聞く事の重要性	発声練習・本読み
9	情報収集・プレゼンテーション	発声練習・対話紹介、手引き
10	集団でのコミュニケーション	発声練習・結婚披露宴の席順
11	集団でのコミュニケーション	発声練習・買い物案内図
12	聞き方全般の意識・技術向上	発声練習・気持ちを受け止める
13	受容する事を体感	発声練習・価値観を受け止める
14	話を聞く・話題を振る 空気を読む	発声練習・フリーコミュニケーション
15	1年のまとめ	発声練習・1年を振り返って制作発表



## シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	観光実践 I		
必修選択	必修	(学則表記)	観光実践 I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科		60
使用教材	北海道アウトドアテキスト・基礎編・応用編		出版社	北海道体験観光推進協議会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	野外活動や旅行先など日常以外で観光の仕事を学ぶ(アウトドア関連)				
到達目標	怪我や疾病に対する基本的な応急手当や初期対応ができるようになる 北海道の観光地を知り、お客様に提案が出来るようになる				
評価基準	テスト 50%、レポート 30%、授業態度 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3分の2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	弘中 祐	実務経験	○		
実務内容	DISCOVERIES 代表 アウトドアガイド、イベント関連業務など 自営で 7 年経営				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 応急手当	授業の流れ、到達目標について、円山トレッキング予習 円山登山を通してケガや疾病の恐れを認識する
2	応急手当	円山登山を通してケガや疾病の恐れを認識 野外行動中に起こり得るケガや疾病についてまとめる
3	応急手当	救命救急 WEB 講習の実施、ファーストエイドキットの活用方法
4	応急手当	登山で起こりやすい疾病、注意する内科的病気
5	応急手当	登山中の怪我、応急手当に関するテスト
6	野外活動	北大植物園散策

7	オリエンテーション 野外活動	北大植物園散策、キャンプ実習の内容説明と準備
8	オリエンテーション	キャンプ実習のための準備、スモークについて
9	オリエンテーション	バーベキューのレシピと食材検討
10	オリエンテーション	ネイチャーゲーム検討
11	オリエンテーション 確認テスト	ジンギスカンについて、キャンプ中に起こり得るケガと対応 確認テスト
12	キャンプ実習	移動、テント設営
13	キャンプ実習	バーベキュー準備、昼食
14	キャンプ実習	片付け、定山溪温泉街散策
15	キャンプ実習	カヌー体験、移動
16	オリエンテーション 北海道神宮	北海道神宮の歴史について触れる
17	北海道神宮	北海道神宮散策
18	北海道神宮	北海道神宮散策
19	北海道神宮	北海道神宮散策
20	北海道神宮	北海道神宮についてまとめる
21	オリエンテーション ワカサギ釣り	ワカサギ釣りについて触れる
22	ワカサギ釣り	ワカサギ釣り、移動
23	ワカサギ釣り	ワカサギ釣り、移動
24	ワカサギ釣り	ワカサギ釣り、移動
25	ワカサギ釣り	ワカサギ釣り、移動

26	雪まつり	雪まつりの歴史について触れる
27	雪まつり	雪まつり会場散策
28	雪まつり	雪まつり会場散策
29	雪まつり	雪まつり会場散策
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス				
科目の基礎情報①				
授業形態	講義	科目名	英語検定対策 I A	
必修選択	選択	(学則表記)	英語検定対策 I A	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	2 30
使用教材	英検準2級予想問題ドリル 英検2級予想問題ドリル 英検過去6回全問題集	出版社	旺文社	
科目の基礎情報②				
授業のねらい	英語の基礎力を身につける			
到達目標	英語に慣れ親しみ、英語実用技能検定で目標級に合格する			
評価基準	定期テスト 40%、授業態度 30%、小テスト 30%			
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者			
関連資格	TOEIC、英語実用技能検定			
関連科目	インバウンド接客英会話 A、観光英会話 I A			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員	富田 亜矢、松尾智世子	実務経験	○	
実務内容	英会話スクール 10年、専門学校 15年、英語科非常勤講師			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	自己紹介、英検について、到達目標について
2	初回テスト	初回テスト実施、目標設定
3	DAY1	筆記 & リスニング対策
4	DAY2	筆記 & リスニング対策
5	DAY3	筆記 & リスニング対策

6	DAY4	筆記 & リスニング対策
7	DAY5	筆記 & リスニング対策
8	DAY6	筆記 & リスニング対策
9	前期テスト	前期テスト実施
10	過去問①	模擬試験
11	解答解説①	解答解説
12	過去問②	模擬試験
13	解答解説②	解答解説
14	過去問③	模擬試験
15	解答解説③	解答解説

シラバス				
科目の基礎情報①				
授業形態	講義	科目名	英語検定対策 I B	
必修選択	選択	(学則表記)	英語検定対策 I B	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	2 30
使用教材	英検準2級予想問題ドリル 英検過去6回全問題集		出版社	旺文社
科目の基礎情報②				
授業のねらい	英語の基礎力を身につける			
到達目標	英語に慣れ親しみ、英語実用技能検定で目標級に合格する			
評価基準	定期テスト 40%、授業態度 30%、小テスト 30%			
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者			
関連資格	TOEIC、英語実用技能検定			
関連科目	インバウンド接客英会話 B、観光英会話 I B			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員	富田 亜矢、松尾智世子	実務経験	○	
実務内容	英会話スクール 10年、専門学校 15年、英語科非常勤講師			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	前期の振り返り	前期で行った内容をふり返り検定への準備を行う
2	DAY7	筆記&リスニング対策
3	DAY7	筆記&リスニング対策
4	過去問④	模擬試験
5	解答解説④	解答解説
6	過去問⑤	模擬試験

7	解答解説⑤	解答解説
8	過去問⑥	模擬試験
9	解答解説⑥	解答解説
10	後期テスト	後期テスト実施
11	リスニング対策	模擬試験
12	過去問⑦	模擬試験
13	解答解説⑦	解答解説
14	振り返り	1年間の振り返りと実際に使える英語対策
15	振り返りと総まとめ	1年間の振り返りと総まとめ、実際に使える英語対策

**シラバス**

**科目の基礎情報①**

授業形態	講義	科目名	観光英会話 I A		
必修選択	選択	(学則表記)	観光英会話 I A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	English for Tourism professional (NATIONAL GEOGRAPHIC Learning)			出版社	三修社

**科目の基礎情報②**

授業のねらい	観光業界で接客する際に英語を使いこなせるようになるための実践英語を身につける				
到達目標	英語を使つての接客の基礎を身につける				
評価基準	テスト 40%、小テスト 20%、提出物 & 宿題 20%、授業態度 20%				
認定条件	出席が総時間の 3分の2 以上あるもの 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	英語検定対策 I A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	オスカル ゴンザレス	実務経験	○		
実務内容	保育園や英会話教室で英会話教師				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

**各回の展開**

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 英語の基礎	授業のねらい・到達目標・成績評価について説明 Tourism jobs/Discussion about travel/tourism and Language
2	Introduction	これまで習ってきたような会話の基礎を使ってみる Listening / Dialogue study/Speaking practice /Reading
3	Unit 1 Recommending a tour	ツアーのご案内の仕方
4	Unit 2 Taking tour booking	ツアーの予約の取り方
5	Unit 3 Escorting a tour	ツアーガイド
6	Unit 3 Escorting a tour	同上



7	Unit 4 Welcoming international tourists	海外から来る観光客の受け入れ
8	Unit 4 Welcoming international tourists	同上
9	Unit 5 Taking an airline reservation	航空券の予約の仕方
10	Unit 5 Taking an airline reservation	同上
11	Unit 6 Giving flight information	フライト情報
12	Unit 6 Giving flight information	同上
13	定期テスト	テストの実施
14	Unit 7 Helping passengers check in	乗客のチェックイン
15	Unit 7 Helping passengers check in	同上

シラバス				
科目の基礎情報①				
授業形態	講義	科目名	観光英会話 I B	
必修選択	選択	(学則表記)	観光英会話 I B	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	2 30
使用教材	English for Tourism professional (NATIONAL GEOGRAPHIC Learning)		出版社	三修社
科目の基礎情報②				
授業のねらい	観光業界で接客する際に英語を使いこなせるようになるための実践英語を身につける			
到達目標	英語を使つての接客の基礎を身につける			
評価基準	テスト 40%、小テスト 20%、提出物 & 宿題 20%、授業態度 20%			
認定条件	出席が総時間の 3分の2 以上あるもの 成績評価が 2 以上の者			
関連資格				
関連科目	英語検定対策 I B			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員	オスカル ゴンザレス	実務経験	○	
実務内容	保育園や英会話教室で英会話教師			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 語彙の復習	英語の基本的な文法や品詞などを振り返り確認、学習する、会話の復習
2	会話の復習	搭乗ゲートでの業務
3	U7 トラブル発生①	機内サービス
4	U7 トラブル発生②	同上
5	U8 業界就職①	CIQ 手続き
6	U8 業界就職②	お部屋の予約の取り方

7	U9 ホテル業務内容①	ゲストのお出迎え
8	U9 ホテル業務内容②	同上
9	U10 料飲部門①	ゲストへのお手伝い
10	U10 料飲部門②	同上
11	U11 トラブル発生①	クレーム対応
12	U11 トラブル発生②	同上
13	テスト	テストの実施
14	振り返り	ゲストお見送り
15	U12 業界対策③	同上

## シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	旅行業法		
必修選択	選択	(学則表記)	旅行業法		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	旅行業法及びこれに基づく命令		出版社	JTB 総合研究所	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指し、旅行業に関する法制度を理解し、身につける。 旅行業等を営む者にとって遵守すべき事柄を規定した法律であることを理解しつつ、目的やそれらを達成する為に設けられた制度と旅行実務についての知識を深める				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験における「旅行業法」において合格ラインレベル以上が身につけている 旅行業法及びこれに基づく法令を理解し、観光業界就職を目指す原動力となっている				
評価基準	検定試験：30% 模擬試験：30% 小テスト：25% 提出物：15%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	国内旅行業務取扱管理者・総合旅行業務取扱管理者・旅程管理主任者				
関連科目	国内旅行業務取扱管理者Ⅰ 旅行業約款 国内旅行実務（国内運賃料金 国内観光資源・地理）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	浦口 宏之	実務経験	○		
実務内容	旅行業スタッフとして27年、旅行会社経営者として12年。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 旅行業法第1章 総則	授業のねらい・到達目標・成績評価について説明 旅行業の現状説明・概要および旅行業法の目的と定義
2	旅行業法第2章 旅行業等①	旅行業及び旅行者代理業者、旅行サービス手配業の登録制度について
3	旅行業法第2章 旅行業等②	営業保証金制度について①
4	旅行業法第2章 旅行業等③	営業保証金制度について②、旅行業務取扱管理者
5	旅行業法第2章 旅行業等④	習熟度テスト、旅行サービス手配業務取扱管理者について 料金の揭示・旅行業約款

6	旅行業法第2章 旅行業等⑤	取引条件の説明・書面の交付 外務員の証明書の携帯等 広告・標識の掲示
7	旅行業法第2章 旅行業等⑥	旅程管理 禁止行為 受託契約 旅行者代理業者
8	旅行業法第2章 旅行業等⑦	旅行者代理業者 事業の廃止等・業務改善命令・登録の取り消し等
9	旅行業法第3章 旅行業協会①	習熟度テスト、旅行業協会について
10	旅行業法第3章 旅行業協会②	旅行業協会、弁済業務保証分担金について
11	旅行業法第4章 雑則 旅行業法第5章 罰則 その他関連法規	雑則、罰則、景表法、消費者契約法、個人情報保護法の概要、習熟度テスト
12	全体の解説とまとめ	練習問題等にて傾向と対策の実践
13	模擬試験第1回目	検定試験に向けての対策を行う
14	模擬試験第1回目解答・解説	前回の模擬試験の解答と解説等
15	模擬試験解答・解説 過去問演習	直前の模擬試験の解答と解説 過去問にて総復習

**シラバス**

**科目の基礎情報①**

授業形態	講義	科目名	旅行業約款		
必修選択	選択	(学則表記)	旅行業約款		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	3	45
使用教材	旅行業実務シリーズ 旅行業約款、運送・宿泊約款		出版社	JTB 総合研究所	

**科目の基礎情報②**

授業のねらい	国内旅行業務取扱管理者合格を目指し、必要な知識を身につける				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者資格に合格することができる				
評価基準	検定試験：30% 模擬試験：30% 小テスト：20% 提出物：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	国内旅行業務取扱管理者				
関連科目	国内旅行業務取扱管理者Ⅰ 旅行業約款 国内運賃・料金 国内地理				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	熊谷 小百合	実務経験	○		
実務内容	JR・国内外航空券のチケット販売、国内外のツアー販売、宿泊・フェリー・貸切バス手配業務、査証手続き代行、留学斡旋業務等をした際、お客様へ旅行業約款の説明				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

**各回の展開**

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第一章 総則	授業のねらい・到達目標・成績評価について説明 適用範囲/用語の定義/旅行契約の内容(募集型・受注型・手配旅行)
2	第二章 契約の締結/第三章 契約の変更	契約の申込み/契約締結の拒否/契約成立時期等 (募集型・受注型・手配旅行)
3	第三章 契約の変更/第四章 契約の解除	旅行者の解除権/旅行会社の解除権等 (募集型・受注型・手配旅行)
4	第五～七章 団体・グループ契約等	団体・グループ契約/旅程管理/責任 (募集型・受注型・手配旅行)
5	第七章 責任	旅程保証/特別補償 (募集型・受注型・手配旅行)
6	第七章 責任	特別補償 (募集型・受注型・手配旅行)

7	旅行相談契約の部	旅行相談契約/理解度チェックテスト
8	国内旅客運送約款	国内旅客運送約款について
9	国内旅客運送約款	国内旅客運送約款について/理解度チェックテスト
10	貸切バス・フェリー標準運送約款	貸切バス/フェリー標準運送約款
11	フェリー標準運送約款・モデル宿泊約款	フェリー標準運送約款/モデル宿泊約款
12	総合まとめ	貸切バス/フェリー標準運送約款/モデル宿泊約款 チェックテスト
13	総合まとめ	過去問を解く
14	総合まとめ	過去問を解く
15	総合まとめ	過去問を解く

シラバス				
科目の基礎情報①				
授業形態	講義	科目名	JR運賃計算	
必修選択	選択	(学則表記)	JR運賃計算	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	3 45
使用教材	国内運賃・料金	出版社	JTB 総合研究所	
科目の基礎情報②				
授業のねらい	JRをはじめとする各種交通機関の運賃料金、宿泊料金を理解する			
到達目標	国内旅行業務取扱管理者合格することができる 各種交通機関の運賃料金の計算ができる			
評価基準	検定試験：30% 模擬試験：30% 小テスト：20% 提出物：20%			
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者			
関連資格	国内旅行業務取扱管理者Ⅰ			
関連科目	旅行業約款 国内地理			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員	熊谷 小百合	実務経験	○	
実務内容	JR・国内外航空券のチケット販売、国内外のツアー販売、宿泊・フェリー・貸切バス手配業務、査証手続き代行、留学幹旋業務等。			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第一部 旅客鉄道会社 (JR)	授業のねらい・到達目標・成績評価について説明 第一章 旅客営業規則の概要等/第二章 乗車券類発売概要(年齢区分まで)
2	第一部 旅客鉄道会社 (JR)	乗車券類販売概要(乗車券類の発売)/第三章 運賃(普通乗車券の効力まで)
3	第一部 旅客鉄道会社 (JR)	第三章 運賃(個人割引・団体割引)
4	第一部 旅客鉄道会社 (JR)	運賃チェックテスト実施/第四章 料金
5	第一部 旅客鉄道会社 (JR)	第四章 料金(新幹線内乗継まで)
6	第一部 旅客鉄道会社 (JR)	第四章 料金(乗継割引)



7	第一部 旅客鉄道会社 (JR)	第四章 料金 (乗継割引/北陸新幹線の取り扱い/東海道・山陽・九州新幹線の取り扱い等)
8	第一部 旅客鉄道会社 (JR)	第五章 変更・取消し・払戻し
9	第二部 航空	第一章 航空券販売の概要/第二章 運賃・料金/変更・取り消し・払い戻し等
10	第二部 航空	JR・国内航空 総まとめ
11	第三部 貸切バス・フェリー	貸切バスの運賃・料金等/フェリーの運賃料金等
12	第四部 宿泊	宿泊の概要/宿泊料金等/変更・取り消し・払い戻し
13	総合まとめ	過去問を解く
14	総合まとめ	過去問を解く
15	総合まとめ	過去問を解く

**シラバス**

**科目の基礎情報①**

授業形態	講義	科目名	国内地理		
必修選択	選択	(学則表記)	国内地理		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	国内観光資源		出版社	JTB総合研究所	

**科目の基礎情報②**

授業のねらい	国内観光地理および資源における必要な知識について学ぶ。				
到達目標	国家試験・国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す				
評価基準	テスト：40% 小テスト：30% 検定試験：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	総合旅行業務取扱管理者 国内地理検定 3～4級				
関連科目	国内旅行業務取扱管理者Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	辻川 千尋	実務経験	○		
実務内容	旅行会社勤務9年、添乗員7年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

**各回の展開**

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、日本の地理における一般常識、到達目標について
2	北海道・北東北	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
3	南東北	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
4	関東	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
5	北陸	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
6	中部	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。

7	関西の知識	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
8	中国地方の知識	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
9	四国の知識	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
10	北九州の知識	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
11	南九州・沖縄の知識	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
12	全国の観光資源のまとめテスト	日本全国における観光資源の総合テスト
13	国立公園・世界遺産	区域の概要、観光資源について学ぶ。
14	国家試験 最終対策	過去の試験問題等による総合テスト
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

## シラバス

### 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	国内旅行業務取扱管理者対策		
必修選択	選択	(学則表記)	国内旅行業務取扱管理者対策		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエトラベル科	2	30
使用教材	国内観光資源・旅行業法		出版社	JTB総合研究所	

### 科目の基礎情報②

授業のねらい	国内旅行業務取扱管理者における必要な知識について学ぶ。				
到達目標	国家試験・国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す。				
評価基準	検定試験：30% テスト：30% 小テスト：20% 提出物：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	総合旅行業務取扱管理者試験 地理検定3～4級				
関連科目	国内地理・JR運賃計算				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	浦口 宏之、辻川 千尋	実務経験	○		
実務内容	旅行業スタッフとして27年、旅行会社経営者として12年。 旅行会社勤務9年、添乗員7年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

### 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業のねらい、到達目標について
2	国内旅行業務取扱管理者試験対策①	授業では補えきれていない国家試験科目の補足授業時間として授業を展開
3	国内旅行業務取扱管理者試験対策②	授業では補えきれていない国家試験科目の補足授業時間として授業を展開
4	国内旅行業務取扱管理者試験対策③	授業では補えきれていない国家試験科目の補足授業時間として授業を展開
5	小テスト	小テスト実施
6	国内旅行業務取扱管理者試験対策④	授業では補えきれていない国家試験科目の補足授業時間として授業を展開

7	国内旅行業務取扱管理者 試験対策⑤	授業では補えきれていない国家試験科目の補足授業時間として授業を展開
8	国内旅行業務取扱管理者 試験対策⑥	授業では補えきれていない国家試験科目の補足授業時間として授業を展開
9	国内旅行業務取扱管理者 試験対策⑦	授業では補えきれていない国家試験科目の補足授業時間として授業を展開
10	国内旅行業務取扱管理者 試験対策⑧	授業では補えきれていない国家試験科目の補足授業時間として授業を展開
11	国内旅行業務取扱管理者 試験対策⑨	授業では補えきれていない国家試験科目の補足授業時間として授業を展開
12	国内旅行業務取扱管理者 試験対策⑩	授業では補えきれていない国家試験科目の補足授業時間として授業を展開
13	国内旅行業務取扱管理者 試験対策⑪	授業では補えきれていない国家試験科目の補足授業時間として授業を展開
14	テスト	テスト実施
15	総まとめ	テスト返却と総まとめ

**シラバス**

**科目の基礎情報①**

授業形態	演習	科目名	キャリアデザイン I A		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザイン I A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	1	15
使用教材	キャリアサポートブック		出版社	三幸学園	

**科目の基礎情報②**

授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る 面接や内定後までの流れを知る				
到達目標	就職活動の流れが理解できている 魅力的な履歴書の書き方を習得している 面接方法が実践できる				
評価基準	授業態度 30% 履歴書 30% 提出物 20% 面接 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	高力 健太郎	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

**各回の展開**

回数	単元	内容
1	就職活動について	2年間の就職活動の流れを把握する
2	ブライダル業界の仕事について	ブライダル業界の職業・職種について調べ把握する
3	ブライダル関連企業について	ブライダル企業について調べ把握する
4	身だしなみについて①	就職活動における身だしなみを理解する
5	身だしなみについて②	就職活動における身だしなみを理解する

6	自己分析①	自己分析方法を学び、実際に自己分析を行う
7	自己分析②	自己分析方法を学び、実際に自己分析を行う
8	自己PR①	自己PRの書き方を学び、作成する
9	自己PR②	自己PRの書き方を学び、作成する
10	履歴書について①	履歴書を作成する
11	履歴書について②	履歴書を作成する
12	面接対策	面接の流れ、面接の種類、ポイントを学ぶ
13	面接練習②	模擬面接を実施する
14	面接練習③	模擬面接を実施する
15	総合授業	総まとめ

シラバス				
科目の基礎情報①				
授業形態	演習	科目名	キャリアデザイン I B	
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザイン I B	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	1 15
使用教材	キャリアサポートブック		出版社	三幸学園
科目の基礎情報②				
授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る 面接や内定後までの流れを知る			
到達目標	就職活動の流れが理解できている 魅力的な履歴書の書き方を習得している 面接方法が実践できる			
評価基準	授業態度 30% 履歴書 30% 提出物 20% 面接 20%			
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者			
関連資格				
関連科目				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員	高力 健太郎	実務経験		
実務内容				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	就職活動のスケジュール 就職希望調査	・今後の就職活動の流れを把握する ・アンケートの実施
2	就職先について	就職先業種や種類について理解する 就職情報サイトの活用方法を知る
3	就職活動のルールについて	就職活動のルールや各種届、証明書発行について把握する
4	就職活動の履歴書について	就職活動における履歴書について学ぶ
5	自己 PR①	自己 PR の書き方について学ぶ



6	自己 PR②	自己 PR の書き方について学ぶ
7	志望動機①	志望動機の書き方について学ぶ
8	志望動機①	志望動機の書き方について学ぶ
9	エントリーシートの書き方①	自己 PR、志望動機をふまえてエントリーシートの記入方法を学ぶ
10	エントリーシートの書き方②	自己 PR、志望動機をふまえてエントリーシートの記入方法を学ぶ
11	企業説明会について	企業説明会の申し込み方法・マナーを学ぶ
12	S P I ・一般常識対策	S P I ・一般常識の問題を解き、実力をつける
13	面接指導①	面接の重要性を把握し、入退室の流れから質問の受け答えまでを学ぶ
14	面接指導②	面接練習
15	総合授業	総まとめ

**シラバス**

**科目の基礎情報①**

授業形態	演習	科目名	パソコン実習		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン実習		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	パソコン技能検定模擬問題集3級 はじめての PowerPoint 2019		出版社	株式会社ユアサポート	

**科目の基礎情報②**

授業のねらい	基本的な入力方法から書類作成など、情報処理・リテラシーを習得する ホテル観光業界に必要なビジネスメールやプレゼンテーション技法を学ぶ				
到達目標	社会人として必要とされる情報処理操作ができ、 スムーズに業務を進めることのできるテクニックが身についている				
評価基準	テスト 60%、課題提出 20%、授業態度・参加の積極性 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	パソコン技能検定3級 ビジネスメール実務検定試験3級				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	高橋めぐみ	実務経験	○		
実務内容	システムエンジニアとして7年、講師として8年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

**各回の展開**

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・PC 基礎知識	授業の流れ、検定と到達目標について PC 基礎知識、タッチタイピング
2	Word 活用・学科①	入力（文書の保存と読み込み、印刷、複写・削除・移動）/学科対策
3	Word 活用・学科②	入力（入力の訂正、特殊な入力方法について）/学科対策
4	Excel 応用・学科③	表計算（オートSUM、関数、四則演算について）/学科対策
5	Excel 応用・学科④	表計算（グラフの作成、グラフの設定変更）/学科対策

6	Word 応用・学科⑤	文書作成（表の作成・編集について）/学科対策
7	Word 応用・学科⑥	文書作成（書式設定・配置）/学科対策（検定問題集のまとめ）
8	総合授業	まとめ（入力・学科・文書作成・表計算）
9	検定対策	確認テスト①(入力、学科、文書作成、表計算)
10	ビジネスメール導入	メールアドレスの登録、ビジネスメールを学ぶ意義、指定メール送信、BCC と CC
11	ビジネスメール演習	添付ファイルと圧縮 google アプリとの連携
12	プレゼンテーション基礎	PowerPoint(基本操作・写真イラスト挿入)
13	プレゼンテーション応用	PowerPoint(アニメーション・音楽動画等マルチメディアの挿入)
14	検定対策	確認テスト②(ビジネスメール・プレゼンテーション)
15	総合授業	総まとめを行う

## シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	観光実践II		
必修選択	選択	(学則表記)	観光実践II		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科		30
使用教材	北海道アウトドアテキスト・応用編		出版社	北海道体験観光推進協議会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	地図とコンパスの使い方、札幌市内の土地勘、天気予報について学ぶ				
到達目標	地図とコンパスを使って、札幌市内の主要な観光地へ行くことができるようになる 天気予報を適切に活用して、イベント当日の天気を予想することができる				
評価基準	テスト 50%、レポート 30%、授業態度 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	弘中 祐	実務経験	○		
実務内容	DISCOVERIES 代表 アウトドアガイド、イベント関連業務など 自営で7年経営				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 地図と地図アプリの活用	授業の流れと評価基準の説明 様々な地図を見比べ、地図の特徴を知る。コンパスの基本的な使い方を確認する
2	札幌市街地の立地①	オリエンテーリングを活用して札幌市内の主要な観光地を巡る 赤れんが庁舎
3	札幌市街地の立地②	時計台 二条市場
4	札幌市街地の立地③	千歳鶴
5	札幌市街地の立地③	テレビ塔
6	札幌市街地の立地④	JRタワー 狸小路など

7	藻岩山訪問①	天気予報の活用について 北海道の天気の特徴
8	藻岩山訪問②	天気と観光との関連性 藻岩山訪問
9	藻岩山訪問③	藻岩山訪問
10	スノーシュー体験①	冬の北海道観光・スノーアクティビティを体験する 滝野すずらん丘陵公園でのスノーシューハイキング
11	スノーシュー体験②	スノーパーク体験①
12	スノーシュー体験③	スノーパーク体験②
13	スノーシュー体験④	スノーパーク体験③
14	観光地図づくり	実習を通して得た知見から、札幌の観光地図を作成する
15	テストと総まとめ	地図と天気予報、札幌観光地に関するテストの実施 振り返りと総まとめ

**シラバス**

**科目の基礎情報①**

授業形態	講義	科目名	レストランサービス検定対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	レストランサービス検定対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	西洋料理料飲接客サービス技法 レストランサービス技能検定 学科試験合格をめざして		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会	

**科目の基礎情報②**

授業のねらい	国家検定試験受験に向けて、レストランにおける料飲ならびにサービスマナーに関する基本的な知識を習得する				
到達目標	国家検定 レストランサービス技能士3級 学科試験合格				
評価基準	授業態度 20% 各章のまとめ 20% × 4回				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	レストランサービス演習Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	大川 綺萌	実務経験	○		
実務内容	結婚式場でのサービススタッフ8年(レストランサービス、結婚式当日のディレクション、アルバイトの研修・マネジメント)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

**各回の展開**

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 食材・飲料等の基礎知識1	授業の流れ、到達目標について 食品の分類別特徴、食品の管理、西洋料理に使用される主な食材について
2	食材・飲料等の基礎知識2	西洋料理に使用される主な食材について
3	食材・飲料等の基礎知識3	一般的な西洋料理調理法等について
4	まとめ	演習問題を実施する
5	料飲概論	アルコール飲料について

6	食材・飲料等の基礎知識 4	ワインの知識、その他の飲料について
7	食材・飲料等の基礎知識 5	メニュー構成について
8	まとめ	演習問題を実施する
9	食材・飲料等の基礎知識 6	食器類について 料飲サービススタッフの役割と求められる資質について
10	宴会とレストランサービス 1	料理と飲み物のサービスについて
11	まとめ	演習問題を実施する
12	宴会とレストランサービス 2	レストランにおける接遇について
13	宴会とレストランサービス 3	ワゴンサービスについて
14	宴会とレストランサービス 4	一般的な救護方法ならびに食事のサービスマナーについて
15	総まとめ	総まとめの演習問題を実施する

**シラバス**

**科目の基礎情報①**

授業形態	演習	科目名	レストランサービス演習 I		
必修選択	選択	(学則表記)	レストランサービス演習 I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会	

**科目の基礎情報②**

授業のねらい	ホテルサービスの基本知識と技術をもった人材になる				
到達目標	国家検定レストランサービス技能士 3級 実技試験合格を目標としている レストランにおける料飲ならびにサービスマナーに関する基本的な動作を習得している				
評価基準	まとめ実践 (グループ評価) 40% 小テスト 20% × 2 授業態度 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3分の2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士 3級				
関連科目	レストランサービス検定対策 I				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	高力 健太郎	実務経験	○		
実務内容	ホテルのレストランサービスとして 16 年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

**各回の展開**

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 基本動作	授業の流れ 到達目標について 立ち居振る舞いの実践
2	接客用語 サービストレイの扱い 1	接客用語について トレイの扱い実践
3	什器備品の知識 1 サービストレイの扱い方 2	シルバーウェアの名称と用途について トレイサービス実践
4	まとめ	学んだことを実践する



5	什器備品の知識 2 リネングッズの扱い	グラスとリネン類の名称と用途について ナプキンホールドとクロス掛け実践
6	テーブルセッティング 1	朝食と昼食のセッティングについて実践
7	テーブルセッティング 2	フランス料理フルコースについて実践
8	プレートサービス 1	料理皿の扱い実践
9	まとめ	学んだことを実践する
10	水とワインのサービス	水・ワインの注ぎ方を実践する
11	グループワーク 1	お迎えからお見送りまでの一連の作業をチームで行う
12	グループワーク 2	お迎えからお見送りまでの一連の作業をチームで行う
13	グループワーク 3	お迎えからお見送りまでの一連の作業をチームで行う
14	まとめ	学んだことを実践する
15	総まとめ	振り返りと総まとめを行う

**シラバス**

**科目の基礎情報①**

授業形態	演習	科目名	ホテル実務実習		
必修選択	選択	(学則表記)	ホテル実務実習		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	ホテル・マネジメント概論		出版社	一般社団法人日本宿泊産業 マネジメント技能協会	

**科目の基礎情報②**

授業のねらい	ホテルの基礎知識を身に付け、マネジメントの観点からホテルを理解する				
到達目標	ホテル業界の基礎知識が身についている ホテル業務について実習を通して体得している マネジメントの観点からホテルを理解している				
評価基準	筆記テスト 30% 実技テスト 30% 小テスト 20% 授業態度・提出物 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	高力 健太郎	実務経験	○		
実務内容	ホテルのレストランサービスとして16年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

**各回の展開**

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 日本の宿泊産業の現状	授業の進め方と検定概要 日本の宿泊産業の現状と課題を理解する
2	ホテルの種類	日系と外資系の特徴
3	ホテルの種類	シティホテル・リゾートホテル・テーマパークホテル等 様々なホテルのタイプがあることを知る
4	ホテル施設	ホテル施設の理解
5	ホテル評価	ホテル評価「星」についての理解

6	ホテルと旅館	ホテルと旅館の違いと特徴の理解
7	ベル業務実習	基本的なベル業務について学ぶ
8	ベル業務実習	基本的なベル業務について学ぶ
9	フロント業務実習	基本的なフロント業務について学ぶ
10	フロント業務実習	同上
11	客室業務実習	基本的な客室業務について学ぶ
12	定期テスト	テストの実施
13	業務運営管理 1	全ての職種に共通する能力を理解する
14	業務運営管理 2 - 1	宿泊職種の業務と要求される能力の理解
15	業務運営管理 2 - 2	料飲職種の業務と要求される能力の理解

シラバス				
科目の基礎情報①				
授業形態	講義	科目名	出入国関連法令と実務 I	
必修選択	選択	(学則表記)	出入国関連法令と実務 I	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	2 30
使用教材	海外旅行実務・出入国法令と実務		出版社	JTB 総合研究所
科目の基礎情報②				
授業のねらい	国家試験である総合旅行業務取扱管理者試験に合格することを目的とする			
到達目標	上記試験に合格できる能力が身につけている			
評価基準	期末テスト：50% 小テスト・提出物 50%			
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者			
関連資格				
関連科目	海外観光資源 I・国際航空運賃 I			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員	濱中 淳子	実務経験	○	
実務内容	添乗員業務、専門学校教員			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 外国旅行事情	授業のねらい、目標について 海外旅行を扱う者としての基礎知識
2	時差とは	標準時と時差 サマータイム
3	GMT とは何か	時差の計算には GMT が有効
4	所要時間の計算	2 地点間の所要時間を出すにはどうするか
5	航空会社	航空会社のコード 都市・空港のコードを覚える
6	国際航空運賃・手荷物	子供の運賃はどのくらい？ 燃油サーチャージなどの料金もかかる

7	OAG 時刻表 1	記号化された国際航空時刻表を学ぼう
8	OAG 時刻表 2	実際に OAG 航空時刻表の見方を学習
9	欧州鉄道 1	欧州の鉄道の乗り方、ユーレイルパスについて
10	欧州鉄道時刻表	欧州の鉄道時刻表の見方
11	その他の外国の鉄道	その他の外国の鉄道についても学習します
12	旅券手続き	旅券を取得する際の必要な書類は
13	検疫・査証	検疫とは何のことでしょう。ワシントン条約や査証とは何？
14	携帯品の免税範囲	海外旅行の際に帰国の時の持ち込み範囲について学習します
15	テスト	テスト実施 テストの解説

**シラバス**

**科目の基礎情報①**

授業形態	講義	科目名	海外観光資源 I		
必修選択	選択	(学則表記)	海外観光資源 I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	海外旅行実務・海外観光資源 科目別速習問題集(総合) 旅に出たくなる地図(世界)		出版社	JTB 総合研究所他	

**科目の基礎情報②**

授業のねらい	国家試験(総合)に向けての準備と海外観光資源の基礎知識を身につける				
到達目標	総合旅行業務取扱管理者資格試験の海外地理の分野の部分で各自の目標点数に到達している 旅行業界に必要な海外観光地の基礎知識を身につける				
評価基準	テスト 40%、小テスト 20%、提出物/宿題 20%、授業態度 20%				
認定条件	出席が総合時間の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	総合旅行業務取扱管理者資格				
関連科目	国際航空運賃 I、出入国関連法令と実務 I				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	中根宏樹・中根萌	実務経験	○		
実務内容	中根宏樹: 旅行会社経営 中根萌: 旅行会社勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

**各回の展開**

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ヨーロッパの国々/イギリス	授業のねらい、到達目標について/国家試験の海外地理の試験についての対策及び勉強方法 ヨーロッパの国々・イギリスの観光地
2	フランス	フランスの観光地
3	イタリア/スペイン	イタリアとスペインの観光地
4	ドイツ/スイス	ドイツ/スイスの観光地
5	北欧/中欧 その他	北欧/中欧の国々とその他(ロシアなど)の観光地

6	ヨーロッパ問題練習	ヨーロッパの練習問題に取り組み復習
7	中国	中国の観光地
8	韓国/台湾	韓国/台湾の観光地
9	東南アジア	東南アジアの国々の観光地
10	東南アジア	東南アジアの国々の観光地
11	インド その他	インドとその他（スリランカなど）の観光地
12	アジア問題練習	アジアの練習問題に取り組み復習
13	まとめテスト	ヨーロッパ&アジアのまとめのテスト
14	アメリカ/カナダ/中南米	アメリカ/カナダ/中南米の観光地
15	北米と中南米の問題練習	北米と中南米の練習問題に取り組み復習

**シラバス**

**科目の基礎情報①**

授業形態	講義	科目名	国際航空運賃 I		
必修選択	選択	(学則表記)	国際航空運賃 I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	海外旅行実務-国際空港運賃・旅行業英語		出版社	JTB 総合研究所	

**科目の基礎情報②**

授業のねらい	国家試験である総合旅行業務取扱管理者に合格することを目的とする				
到達目標	上記試験に合格できる能力が身についている				
評価基準	期末テスト：50% 小テスト 30% 提出物 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	国内旅行業務取扱管理者試験				
関連科目	海外観光資源 I 出入国関連法令と実務 I				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	熊谷 小百合	実務経験	○		
実務内容	海外航空券手配業務、料金案内				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

**各回の展開**

回数	単元	内容
1	オリエンテーション IATA と国際航空運賃	授業のねらい、到達目標について IATA とは/運賃の適用/出発地国通貨建て運賃等/タリフについて
2	航空券の見方/運賃計算の基本	航空券の見方/運賃計算上の各地点/運賃計算の基本 (マイルージ計算・運賃割増率)
3	運賃計算の基本	HIP チェック/基本的な計算問題/
4	マイルージ計算の特例	みなし計算/TPM Deduction/Specified Routing/計算問題まとめ
5	運賃計算結果の表示	運賃計算チェックテスト/Linear Format について
6	キャリア運賃	キャリア運賃の適用規則/タリフの読み方(適用期間・運賃)



7	キャリア運賃	タリフの読み方（予約・発券、必要旅行日数、最長旅行期間、途中降機等）
8	キャリア運賃	基本的な計算演習問題/タリフの読み方（結合運賃、予約変更・経路変更、取消・払戻）
9	キャリア運賃	結合運賃について
10	キャリア運賃	結合運賃について
11	キャリア運賃	本試験出題パターンについて/問題演習
12	キャリア運賃	本試験出題パターンについて/問題演習
13	キャリア運賃	本試験出題パターンについて/問題演習/過去問題を解く
14	キャリア運賃	本試験出題パターンについて/問題演習/過去問題を解く
15	テスト	テスト実施 テストの解説

## シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	リスクマネジメント I		
必修選択	選択	(学則表記)	リスクマネジメント I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	北海道アウトドアテキスト【リスクマネジメント編】 北海道アウトドアテキスト【自然環境保全の主な法令・制度編】		出版社	北海道経済部観光局	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	安心、安全なアウトドア活動を実施するための知識を習得する				
到達目標	北海道アウトドア検定に合格することができる 北海道アウトドア専門ガイド【自然】を理解している				
評価基準	検定 60% 小テスト 40%				
認定条件	出席が総時間数の 3分の2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	北海道アウトドア検定(1年2月実施予定)				
関連科目	自然ガイド I 北海道アウトドア・アドヴァンス				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	弘中 祐	実務経験	○		
実務内容	DISCOVERIES 代表 アウトドアガイド、イベント関連業務など 自営で7年経営				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第1章 法令・制度	授業のルール・検定説明 第1章 自然環境保全に関する法令知識
2	第1章 リスクマネジメントとは	アウトドア活動に潜む危険因子/リスクマネジメントとは、トレッキングで考えられるリスクマネジメント (アウトドアアドヴァンストレッキングの際の)
3	第2章 リスクマネジメントの基礎知識 (フィールド編)	第5項 危険な動植物と対処法
4	トレッキング振り返り	トレッキング振り返り(リスクマネジメントについて)

5	第3章 リスクマネジメントの基礎 知識 (応用編)	気象に関する知識/地図読みコンパスの使い方
6	第4章 リスクマネジメントの基礎 知識 (緊急対応編)	事故対応の流れ
7	第4章 リスクマネジメントの基礎 知識 (緊急対応編)	応急処置
8	第5章 アウトドア中の事故により 生じる法的責任	法的責任/保険制度
9	第5章 アウトドア中の事故により 生じる法的責任	事故の事例と判例
10	検定対策①	北海道アウトドア検定対策 (以降どこかで小テスト実施)
11	検定対策②	北海道アウトドア検定対策 (以降どこかで小テスト実施)
12	検定対策③	北海道アウトドア検定対策 (以降どこかで小テスト実施)
13	検定対策④	北海道アウトドア検定対策 (以降どこかで小テスト実施)
14	検定対策⑤	北海道アウトドア検定対策 (以降どこかで小テスト実施)
15	検定対策⑥	北海道アウトドア検定対策

**シラバス**

**科目の基礎情報①**

授業形態	講義	科目名	自然ガイド I		
必修選択	選択	(学則表記)	自然ガイド I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	北海道アウトドアテキスト【基礎編】/【応用編】 北海道アウトドアテキスト【自然環境の主な法令・制度編】 北海道アウトドアテキスト【リスクマネジメント編】		出版社	北海道経済部観光局	

**科目の基礎情報②**

授業のねらい	自然ガイドとして基礎知識を習得する				
到達目標	北海道アウトドアガイド専門分野(自然ガイド)に合格することができる				
評価基準	検定 60% 小テスト 40%				
認定条件	出席が総時間数の 3分の2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	北海道アウトドアガイド専門分野(自然ガイド)筆記 2年 9月予定				
関連科目	リスクマネジメント I 北海道アウトドア・アドヴァンス				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	弘中 祐	実務経験	○		
実務内容	DISCOVERIES 代表 アウトドアガイド、イベント関連業務など 自営で 7年経営				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

**各回の展開**

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第 1 章 ガイドの責務と使命	第 1 章 ガイドの責任と使命
2	第 2 章 北海道の自然に対する 理解・配慮	北海道の動物相/植物相・植生/流氷と凍土
3	第 3 章 北海道の自然に対する 理解・配慮	レッドデータブック/移入種/高山植物/山岳における自然への配慮
4	第 3 章 北海道の自然の変貌と その保全	自然保護の体系的な考え方/開拓以来の自然の変貌とその保全
5	第 3 章 北海道の自然の変貌と その保全	河川環境の変化と保全/北海道で起きた 5 つの自然保護問題 自然・文化遺産・世界遺産

6	第4章 自然ガイドとしての インタープリテーション	インタープリテーションの定義
7	第5章 プログラムの企画と立案	プログラムの企画から実施まで/魅力あるプログラムとは プログラムのテーマとシナリオ/メッセージの伝え方/参加者にふさわしいプログラム内容
8	第5章 プログラムの企画と立案	プログラムの企画から実施まで/魅力あるプログラムとは プログラムのテーマとシナリオ/メッセージの伝え方/参加者にふさわしいプログラム内容
9	第5章 プログラムの企画と立案	【2年後期で行く北海道自然環境見学】の企画（日帰り）
10	第6章 コミュニケーション	コミュニケーション技法/言葉以外の表現方法
11	第7章 ガイド業務運営上の留意点 小テスト	ガイド業務運営上の留意点 小テスト実施
12	検定対策①	北海道アウトドアガイド専門分野（自然ガイド）検定対策
13	検定対策②	北海道アウトドアガイド専門分野（自然ガイド）検定対策
14	検定対策③	北海道アウトドアガイド専門分野（自然ガイド）検定対策
15	検定対策④	北海道アウトドアガイド専門分野（自然ガイド）検定対策

**シラバス**

**科目の基礎情報①**

授業形態	演習	科目名	北海道アウトドア・アドヴァンス		
必修選択	選択	(学則表記)	北海道アウトドア・アドヴァンス		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	北海道アウトドアテキスト【基礎編】/【応用編】 北海道アウトドアテキスト【自然環境の主な法令・制度編】 北海道アウトドアテキスト【リスクマネジメント編】			出版社	北海道経済部観光局

**科目の基礎情報②**

授業のねらい	北海道のアウトドアに関する基本的な知識を得る				
到達目標	北海道アウトドア検定に合格することができる				
評価基準	検定 60% 小テスト 40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	北海道アウトドア検定(応用)				
関連科目	自然ガイドⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	弘中 祐	実務経験	○		
実務内容	DISCOVERIES 代表 アウトドアガイド、イベント関連業務など 自営で7年経営				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

**各回の展開**

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第1章 ガイドの役割と責任	職業理論、プロフェッショナルとしての責任
2	第1章 ガイドに求められるもの 自然環境への配慮	ガイドの理想像/コミュニケーションスキル 自然環境への配慮
3	第2章 北海道の自然学	北海道の生い立ち/北海道の気候と地域性/北海道の植物相と動物相
4	外部研修①(実践)	札幌近郊の山をトレッキング/山の中を散策して自然を楽しむ(動植物の観察)
5	外部研修②(実践)	札幌近郊の山をトレッキング/山の中を散策して自然を楽しむ(動植物の観察)

6	外部研修③（実践）	札幌近郊の山をトレッキング/山の中を散策して自然を楽しむ（動植物の観察）
7	外部研修④（実践）	トレッキング振り返り
8	第3章 北海道の文化	北海道の古代文化/北海道のアイヌ民族
9	第4章 野外行動技術	地形図に関する知識/季節の事故防止のために
10	第5章 ガイド技術の基本	ガイドなどの位置/参加者の理解・把握
11	第5章 ガイド技術の基本	コミュニケーションの手法/ホスピタリティ
12	検定対策①	北海道アウトドア検定筆記試験対策 小テスト実施
13	検定対策②	北海道アウトドア検定筆記試験対策
14	検定対策③	北海道アウトドア検定筆記試験対策
15	検定対策④	北海道アウトドア検定筆記試験対策

シラバス				
科目の基礎情報①				
授業形態	講義	科目名	エアライン面接対策	
必修選択	選択	(学則表記)	エアライン面接対策	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	2 30
使用教材	CA GS エアライン受験対策 書き込み式テキスト 2024 年就職版		出版社	ペンコム出版
科目の基礎情報②				
授業のねらい	航空会社が求める人物像を理解し、エアライン採用試験突破のために必要なスキルを体得する			
到達目標	航空会社が求める人物像を理解し、エアライン採用試験突破のために必要なスキルを身に付ける			
評価基準	意欲・態度：60% 提出物：40%			
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者			
関連資格				
関連科目				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員	林 美香	実務経験	○	
実務内容	航空会社勤務(グランドスタッフ、CA 経験)			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について、目標設定
2	序章	身だしなみ、エアライン面接メイク・ヘアメイク実践
3	第1章	航空業界研究
4	第2章	職種研究
5	第3章	自己分析
6	第3章	自己PR



7	第4章	日本の航空史と企業研究
8	第4章	志望動機
9	第5章	第一印象と動画面接
10	第6章	入退室のマナー/エアライン面接試験の特徴
11	第6章	面接練習①
12	第6章	面接練習②
13	第6章	面接練習③
14	第7章	グループディスカッション
15	第7章	グループワーク

## シラバス

### 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	空港カウンター演習 I		
必修選択	選択	(学則表記)	空港カウンター演習 I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	ANA グランドスタッフ入門 最新版		出版社	イカロス出版	

### 科目の基礎情報②

授業のねらい	グランドスタッフとして即戦力となり得る知識、振る舞いを身に付ける				
到達目標	グランドスタッフとしての基礎知識を身に付ける カウンターでのチェックイン業務、搭乗ゲート業務、到着業務の基本動作が出来るようになる				
評価基準	実技テスト：40% 小テスト：20% 提出物：20% 意欲・態度：20%				
認定条件	出席が総時間数の 3分の2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	エアライン業界総合 I				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	林 美香	実務経験	○		
実務内容	航空会社勤務(グランドスタッフ、CA 経験)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

### 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について、GS の仕事とは
2	GS としての基本マナー①	身だしなみ、エアラインメイク・ヘアメイク実践
3	GS としての基本マナー②	グランドスタッフに相応しいマナー
4	GS としての基本マナー③	小テスト、立ち居振る舞い
5	カウンター業務・基本①	チェックイン業務について
6	カウンター業務・基本②	手荷物のルールと手荷物預かり業務の実践

7	カウンター業務・基本③	チェックイン業務シミュレーション
8	アナウンス基礎①	アナウンス座学
9	アナウンス基礎②	アナウンス座学
10	搭乗ゲート業務	搭乗ゲート業務について
11	アナウンス実習①	搭乗ゲートにおけるアナウンス実習
12	アナウンス実習②	搭乗ゲートにおけるアナウンス実習
13	到着業務	到着業務について
14	総まとめ	総まとめ
15	実技テスト	実技テスト実施

## シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	エアライン業界総合 I		
必修選択	選択	(学則表記)	エアライン業界総合 I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	エアライン・ビジネス入門 第2版		出版社	晃洋書房	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	エアライン業界の基礎知識および空港旅客業務の業務内容と基礎知識を習得する				
到達目標	エアライン業界の歴史と現状及び航空各社の経営戦略について理解することができる。 航空業界用語および日本と海外の主要空港と航空会社の2レター、3レターを理解し、覚えている。 空港旅客業務の内容を理解し、説明する事が出来る				
評価基準	テスト：30% 小テスト：20% 提出物：20% 意欲・態度：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	空港カウンター演習 I				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	亀倉 麻紀子	実務経験	○		
実務内容	航空会社勤務(グランドスタッフ)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について グランドスタッフの業務内容について考える
2	航空会社事業論	航空会社の関連事業（航空直結事業関連会社と周辺事業会社）について学ぶ 旅客ハンドリング会社について学ぶ
3	空港業務と旅客ハンドリング①	グランドスタッフに求められる人材像について考える グランドスタッフの業務内容について詳しく学ぶ
4	空港業務と旅客ハンドリング①	ステーション・オペレーションとグランドハンドリングについて学ぶ
5	エアライン・ビジネスとは	エアライン・ビジネスの特徴、特性について学ぶ

6	エアライン・ビジネスの歴史①	航空行政の歴史を知りさまざまな観点から学ぶ
7	エアライン・ビジネスの歴史②	日本の民間航空の歴史について学ぶ
8	日本の空港①	空港の種類と数、位置づけを理解する 日本の主要な空港と空港 3 レターについて学ぶ
9	日本の空港②	空港の機能と施設・設備について学ぶ 空港の課題とこれからの空港について学ぶ
10	日本のエアラインと LCC	日本の主要な航空会社と航空会社の 2 レター-3 レターについて学ぶ LCC の概要と日本の LCC について学ぶ
11	航空業界用語	旅客ハンドリング用語と略語、アルファベットの読み方を学ぶ
12	航空機メーカーと機種①	航空機のメーカーと機種について学ぶ
13	航空機メーカーと機種②	航空機のメーカーと機種について学ぶ
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス				
科目の基礎情報①				
授業形態	演習	科目名	インターンシップ I	
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップ I	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	2 60
使用教材	なし		出版社	
科目の基礎情報②				
授業のねらい	プライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける			
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる			
評価基準	企業側評価 75% (評価表にて採点)、学校評価 25% (レポート)			
認定条件	出席が総時間数の 3分の2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者			
関連資格				
関連科目				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員	高力 健太郎、武山 理佳	実務経験		
実務内容				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります